

七条中学校だより10月7号

京都市立七条中学校

令和8年10月9日

発行:校長 林 秀雄

70周年記念品を贈呈していただきました

創立70周年を記念し、地域の皆様、七条中学校PTA、そして七条中学校七十周年記念事業実行委員会より、

- スクリーン昇降機
- 体育館舞台壁新規工事
- 移動式音響設備
- 吹奏楽器

をご寄贈いただきました。生徒たちの教育環境の充実を願う温かなお気持ちに、深く御礼申し上げます。これらの記念品は、単なる設備や備品ではありません。その一つ一つに、「七条中学校の子どもたちを応援したい」「より良い学習環境の中で成長してほしい」という、地域や保護者の皆様の温かい願いが込められています。

新しい設備によって、学校行事や授業、文化活動の充実が図られ、生徒たちの学びや表現の幅がさらに広がることと思います。特に、体育館の環境整備や音響設備、吹奏楽器の充実は、生徒たちの教育活動を力強く支えていただく大きな財産となります。

本校が創立70周年という節目を迎えられたのも、長年にわたり学校を支え続けてくださった地域の皆様、保護者の皆様、関係者の皆様のお力添えがあってこそです。いただいたご厚意に深く感謝申し上げますとともに、これらの貴重な記念品を大切に活用し、生徒たちの健やかな成長と、より充実した教育活動のために生かしてまいります。

改めまして、ご支援・ご協力を賜りましたすべての皆様に、心より御礼申し上げます。七条中学校はこれからも、地域とともに歩み、次の10年、20年、その先の未来へと歴史をつないでまいります。

合唱は、きっと皆さんの心に残る

合唱練習を見て回っていると、どの学年もどのクラスも随分と良い形になってきていると感じます。歌声そのものだけでなく、合唱に向き合う姿勢や仲間と協力して取り組もうとする雰囲気も、練習が始まった頃と比べると大きく成長しています。もちろん、まだまだ伸びしろはあります。だからこそ、これから本番に向けてどこまで完成度が高まっていくのか、とても楽しみです。ところで、今日のリハーサルではどうだったでしょうか？自分たちの合唱は上手くなりましたか？他クラスの発表をどう感じましたか？ここからの練習が最も大切です。ここからがどのクラスも伸びてきます。リハーサルの時の完成度とはガラッと変わります！

あれだけ続いていた暑さもようやく落ち着き、季節は秋へと移り変わりました。9月は雨の日が多く、気持ちも少し沈みがちになるような日が続きましたが、ここ数日は爽やかな秋晴れが広がっています。そんな空の下で聞こえてくる皆さんの歌声は、澄み渡り、これまで以上に美しく感じられます。皆さんの練習を聴きながら、私はこれまで出会ってきたたくさんの合唱の思い出を振り返っています。そして、皆さんが今、歌っている合唱曲の中にも、私が過去に関わってきた生徒たちとの思い出が詰まった曲がたくさんあります。

私が中学生だった頃に自分が歌った曲。24年前に離任する時、生徒たちが贈ってくれた曲。17年前に学年合唱コンや卒業式で歌った曲。最後に担任したクラスが卒業式で歌った曲。合唱コンクールで共に競い合った他クラスの自由曲。そして、コロナ禍で思うように歌うことができなかった卒業式の曲。

皆さんの歌声を聴いていると、そのときの景色や仲間の顔が鮮やかによみがえってきます。そして思い出すのは、歌そのものだけではなく、音を合わせ、声を合わせ、心を合わせようとした日々です。思うようにまとまらず悩んだこと、意見がぶつかったこと、何度も練習を重ねたこと。本番までの苦労や努力も含めて、ひとつの物語として今でも心に残っています。

そして今、私は校長という立場ですが、担任の先生方をうらやましく思う瞬間が二つあります。合唱コンクールと卒業式です。今回は合唱コンクールについてお話しします。

私が担任をしていた頃、さまざまな学校行事に全力で取り組みました。その中でも、「この取組だけは絶対に他クラスには負けたくない」「クラスみんなで一番になりたい」と強く思っていた行事が二つありました。一つは合唱コンクール、もう一つは体育大会の学級対抗団体種目です。

なぜなら、この二つは学級全員の気持ちを一つにすることが何より大切だからです。歌の上手な人だけではよい合唱はできません。足の速い人だけでは団体種目に勝つこともできません。一人ひとりが同じ目標に向かい、互いを認め合いながら力を合わせることで初めて大きな成果につながります。

合唱コンクール当日は、それまで積み重ねてきた練習の成果を発表します。歌い終わった後の達成感、結果発表を待つ緊張感、発表の瞬間の歓声や悔しさ。みんなで一喜一憂するあの時間は、生徒にとっても担任にとっても特別な時間です。今、皆さんはまさにそのド真ん中にいます。仲間とぶつかったことも、思うようにいかなかったことも、本番が近づく緊張も含めて、今しか味わえない貴重な時間です。私の立場から見ていると、本当にうらやましく感じます。

実は七条中学校の教職員の中に、私の小・中学校時代の同級生がいます。事務室の志賀さんです。中学校2年生のとき同じクラスで、合唱コンクールにも一緒に取り組みました。当時はお互いに一生懸命練習したことを覚えています。あれから●十年も経った今でも、その頃の合唱の話をする昨日のことのよう思い出します。何位だったのかははっきり（そこは）覚えていなくても、仲間と力を合わせて歌ったことや、みんなで一つの目標に向かって頑張ったことは、今でも大切な思い出として残っています。

皆さんが今取り組んでいる合唱も、きっと同じです。将来振り返ったときに思い出すのは、結果ではありません。仲間と過ごした時間、一つの曲をつくり上げるために努力した日々、うまくいかなかったことも含めたすべての経験です。だからこそ、今の練習を大切にしてください。音を合わせ、声を合わせ、そして心を合わせながら、クラスみんなで最高の合唱をつくり上げてほしいと思います。皆さんの歌声が会場に響くその日が、何年経っても「あのとき本当に頑張ってたよかった」と振り返ることのできる、かけがえのない思い出になることを願っています。

現在 学校だより 通算94号